

HALion 3.3.0.450

改善点：

- **Mac OS X : Intel Mac対応**

インストール方法（2通りございます）

方法1（推奨）

HALion 3をオリジナルのインストールDVD-ROMを使用してインストール後に、ダウンロードした HALion 3.3.0.450インストーラを使って上書きインストールを行う。

方法2

ダウンロードしたHALion 3.3.0.450インストーラを実行後に、手動でコンテンツ・ファイルをコピーする（“BROWSER” ページ → HALion コンテンツ・フォルダ → コンテンツを選択する）

- **Windows : Vista 32bit対応**

インストール方法

- 本インストーラを使ってHALion 3.3.0.450をインストールを行う。（ Windows XPおよび、Vista 32bit に対応するSyncrosoft License Control Center ver.5.2.10.2 が同時にインストールされます。）

- HALion 3 のオリジナル・インストールDVD-ROMからライブラリをハードディスクにコピーする。

- コンテンツ・ファイルを手動で選択してご使用ください。（“BROWSER” ページ → HALion コンテンツ・フォルダ → コンテンツを選択する）

- Kontakt 2、GIGA studio 3 ファイルのインポート機能追加。
- Waldorf フィルタ使用時のパフォーマンス向上
- コンテキスト（グローバル）メニューの“Archive”メニューに、“Save as Default Bank” 機能を追加。現在使用中のバンクをデフォルト・バンクとして保存します。次回起動時にこのバンクを自動的にロードします。
- “OVERLAP” オペレーション・モード
各サンプルにオーバーラップ値が搭載されました。この値がサスティンペダル使用/不使用に限らず、キーにアサインされたサンプルの同時再生可能数を決定します。

Value 0（デフォルト値）

あるキー（ピッチ）のサンプルは一度に1音のみ発音します。もしも前の音が発音している場合は、次の演奏情報が送られてきた途端に発音が止まります。

Value 1

あるキー（ピッチ）のサンプルを一度に2音発音させることができます。同じサンプルに対して3音目の演奏情報が送られると、それ以前に発音していたノートのうち、最も音量の小さいノートの発音を中止します。

1サンプルを一度に2音鳴らす方法は以下の通りです。

- * サスティン・ペダルを使用して同じキーを打鍵する。
- * 2つのMIDI入力ソース、または同じ出力先に設定したMIDIトラックを使用して、同じキーを演奏する。
- * Cubaseのキーエディタを使用してノートをオーバーラップさせる。

- * ボイスグループを使った発音制限アルゴリズムはオーバーラップ・アルゴリズムの後に適用されます。

- トラックボールの新機能
[Alt]/[Option]でピッチ（横）方向のみ、[Shift]+[Alt]/[Option]でモジュレーション（縦）方向のみ動きます。
- BROWSER ページ：アルファベットを使ったソートが行えるように“abc” ボタンが搭載されました。

- ディスクストリーミング LEDにピーク機能が搭載されました。ストリーミング・エラーが発生するとクリックするまで、LEDの周りが赤く点灯した状態になります。
- スタンドアローン PC:HALion.dll (.exe)と同階層に“ignoreportfilter”というファイルをコピーすると“emulated Direct Music Ports”を回避することができます。コピーした後は“Preference”にすべてのMIDIポートがリスト表示されます。

“ignoreportfilter” ファイルの作成方法：

ワードパッドを使って新規ファイルを作成し、保存時に ignoreportfilter という名前をつけてください。最後に作成したファイルから拡張子を削除することでOkBの“ignoreportfilter”というファイルが出来上がります。

“ignoreportfilter” は、HALion 3のアップデートと同じWEBページからダウンロードすることもできます。

- スタンドアローン：Enable Hybrid ReWire Mode機能搭載。ReWireスレーブで動作時にMIDI情報をReWireホストからではなく、任意のMIDIポートから受信することができます。HALionのオーディオ出力はReWireを経由してストリーミングされます。
シーケンサー出力とHALion（と“MIDI Yoke NT”のようなバーチャルMIDIループバック・ドライバを使用）のMIDIチェーンの中でMIDIを扱うアプリケーションを接続する場合に便利な機能です。

修正点：

- VSTインストゥルメント スロットでインストゥルメントの選択画面を表示させると時々クラッシュしてしまっていた問題を改善。
- 設定が正しいにも関わらず“Wrong Output Configuration”メッセージが時々現れる問題を改善。
- LFO周波数が0.00の時に、LFOがおかしな値を追加して異なるピッチを再生してしまう問題を改善。
- Akaiペロシティ・レイヤーのインポートを改善。
- Rolandファイルのインポート時に確認されていた問題を改善
- 大規模なGIGAstudioファイルをBROWSERで読み込んだ時にクラッシュしやすかった問題を改善。
- KurzweilとEmuのステレオ・サンプルが正しくインポートされるようになりました。
- 8bitオーディオファイルを読み込むとクラッシュする問題を改善。
- ステップ・エンベロープのプリセット・リストが正しくアップデートされるようになりました。
- LOOP ページで長めのサンプルのズーム時の問題を改善。
- SOUND ページでrelative エディット・モードで発生していた問題を改善。
- ペロシティのクロスフェイドが正しく動作するようになりました。
- DCノイズを引き起こす原因を作っていた問題を改善。
- HALionを使用しているプロジェクトを終了時にプロジェクトがクラッシュする問題が改善。
- Program、Bankが読み込まれていない場合のMIDIイン・インジケータが正しく動作するようになりました。
- OPTIONS ページ：“Move only with shift” オプションが有効な時のマウスの挙動が改善されました。
- OPTIONS ページ：クオリティ設定が12%を下回るとノイズを発生していた問題を改善。
- スタンドアローン：Preference内で設定するテンポと拍子情報が記録されるようになりました。
- スタンドアローン PC：Preferenceでオーディオデバイス、ハードウェアのMIDIデバイスを変更した際に起こっていたクラッシュを改善。
- Mac OS X：AUの互換性向上。

HALion 3.2.2.1400 pre-release

本バージョンは可能な限り早くユーザーの皆様により良い状態の製品を使って頂くために、必要最小限の品質チェックだけを行なってリリースしているプリリミナリー・バージョンです。スタインバーグによるシビアな動作チェックは行なっておりませんが安定性、信頼性は確保しています。しかしながら正式なバージョンが発表されるまではサポート対象外とさせていただきますので、予めご了承頂いた上でご使用くださいますようお願い申し上げます。

改善点：

- ・ キーボード：使用しているキー・レンジ（Metatrigger）が見やすくなりました。
- ・ ロード時間が短くなりました。

修正点：

- ・ 「Use included Root Keys」が有効になっているとインポートしたサンプルの鍵盤へのマッピングが正しく行なわれない問題を修正しました。
- ・ プロジェクトへのロード、またはバンク(.fxb)のロード時にセンド・エフェクトが正しく読み込まれない問題を修正しました。
- ・ ベロシティ・クロスフェードを使用したプログラム(.fxp)をロードするときにクラッシュする問題を修正しました。
- ・ エフェクト、および現在と異なるアウトプット・コンフィギュレーションのバンク(.fxb)をロードするときにクラッシュする問題を修正しました。
- ・ Mac OS X: 新しいプログラムに変更する時、または「Clear All」を実行時にクラッシュしてしまう問題を修正しました。
- ・ Logic 7.2でのアウトプットの取り扱いが修正されました。
- ・ Digital Performer (AU & ReWire) の互換性が向上しました。

HALion 3.2.1.1338

改善点：

- ・ メモリ・マネージメントの最適化によって、大量のサンプル、プログラム、バンクのロード時間が短くなりました。
 - メモリ内容の移動が少なくなりました。（再アロケーションが少なくなりました。）
 - ボリュームの変更を小数点単位で行なえるようになりました。

修正点：

- ・ サンプルがグループ設定を含んでいたり、スタート・ループがスタート・オフセットと同じ値に設定されている場合にHALion 3.2がより多くのメモリを要求してしまう問題を修正しました。
- ・ 起動時間が短くなりました。
- ・ Mac OS X: i以前のHALion AUバージョンを使用したプロジェクトのローディングがうまくいかない問題が修正されました。
- ・ Mac OS X: 起動時にプリファレンス・ファイルが壊れることでクラッシュする問題が修正されました。

HALion 3.2.0.1313

新機能：

- ・ スタンドアローン・バージョン
 - 新しいプリファレンス・ダイアログ
 - 物理的に複数のアウトプットの割り当てが行なえるようになりました。
 - ReWire対応の向上
 - MIDIリセット（パニック）・ボタンの新設

- BROWSER ページ
 - キー・コマンドを使ってディスク・ファイルを削除するためにブラウザの削除機能がつきました。
 - HALion XMLファイルをFXPファイルに変換するコマンドが追加されました。これによりサードパーティがFXPファイルを作成しやすくなりました。
- OPTION ページ
 - オプション設定でMIDIプログラム・チェンジを無視できるようになりました。
 - プリロード時間を最小で0.1秒まで短く設定できるようになったため、ハードディスクへの負担は増えるものの、使用メモリを減らすことができます。
 - エクスポート時にミックスダウン・モードが使用できるようになりました。（Logicのようにホスト側が対応していない場合に使用します。）
- その他
 - 一度に複数のサンプルをミュートできるようになりました。
 - Quick Control：ターゲットにフォルダ・ミュートが選べるようになりました。
 - Global ページ：fxpごとにオフセット・ポリュームを設定できるようになりました。
 - FXPプログラムが圧縮されるようになり、サイズがより小さくなります。

修正点：

- スタンドアローン・バージョン
 - HALion 3.1のスタンドアローン版を起動するとMIDIインプットのプリファレンス情報を失ってしまう問題を修正しました。
- OPTION ページ
 - プリロード時間を変更した後のメモリのハンドリング能力が向上しました。
 - ボイス・バッファのテキストとヘルプ・メニューが修正されました。
- BROWSER ページ
 - Browserウィンドウのデバイダ（ドラッグしながら左右に移動させることができるウィンドウ間の仕切り）の位置情報が記憶されない問題を修正しました。
 - マウスのホイールの感度を修正しました。
 - FXP / FXBにカテゴリを割り当てた時にクラッシュする問題を修正しました。
 - AKAIライブラリのインポート時にファイル名の最後にスペースを追加してしまう問題を修正しました。
 - Gigaライブラリのインポート時に最初のフォルダ以外のフォルダを隠してしまう問題を修正しました。
 - Browserウィンドウにリスト表示された実際のファイルの位置が変わらないようになりました。
 - Browserを別ウィンドウで表示中に開いたり、閉じたりするとクラッシュしてしまう問題を修正しました。
- その他
 - アーカイブ：RAMSaveのアンロード情報がアーカイブに保存されなくなりました。
 - プログラム・リストにサンプルをインポートやドラッグ&ドロップ中にマッピング・ウィンドウがキーボードからのOK情報に反応しない問題を修正しました。
 - キーボードの初期設定位置が1オクターブ右の間違った位置にありました。修正後の初期設定位置はC3です。
 - 長時間使用すると300dBにもなるアウトプット・ピークを生むDCオフセットの問題を修正しました。
 - MIDIノート情報がHALion内で正常に処理されない問題を修正しました。
 - SendFXを解除した時にフリーズする問題を修正しました。
 - 左右矢印を使ってエンベロープ・ポイントを選択した時に、表示データがおかしくなる問題を修正しました。
 - ソステヌート（CC66）を使用するとクラッシュしてしまう問題を修正しました。
 - オート・ネーム機能が最初だけ正常に機能しない問題を修正しました。
 - インストールメントをプログラム・リストにドラッグした時のマウス・メニューのリドロ問題修正しました。
 - 「Always Preload」状態が正常にコピーされない問題を修正しました。
 - Global ページ：緑のMIDIスロットのライトがマニュアル通りに動作しない問題を修正しました。
 - Keyzone ページ：MIDIレベルの127が128と表示されてしまう問題を修正しました。
 - Sound ページ：12dBフィルター選択時に起こる不具合を修正しました。

- 右クリック・メニュー（Mac OS X：control+クリック）を使用してfxpファイルを保存する時にオート・ネーム機能が正常に機能するようになりました。
- 左右矢印を使ってエンベロープを選択時にディスプレイに正しいデータが表示されるようになりました。
- モジュール・プリセットが増えた場合の挙動が正常になりました。現在の値が上書きされなくなりました。
- Mac OS X：Cubase SXを終了した時にクラッシュする問題を修正しました。
- Mac OS X：HALionを使用するCubase SXでいくつもプロジェクトを起動しているとクラッシュしてしまう問題を修正しました。
- HALionがサンプルを検索するとCubase SXがクラッシュする問題を修正しました。
- AUフォーマットの対応が全体的に向上しました。
- AU版で時々ディスク・ストリーミングが機能しなくなる問題を修正しました。
- Mac OS X：HALionを複数起動していて、現在作業中のHALionが2つ目以降のインスタンスの場合に「Always on top」機能が無効の場合「Clear all Command」が機能しない問題を修正しました。
- DXi：サンプルの選択が正常でない問題を修正しました。

HALion 3.1.0.947

新機能：

- スタンドアローンとして使用する際に、Rewireスレーブとして動作するようになりました。
- トラックボールの下にサステインペダル情報が表示されるようになりました。
- 拡張子を変更したサンプルの検索が可能になりました。
- ファイル名の“Search and Replace”（検索して置き換え）機能を追加しました。
- Megatrigの動作に厳密なルールを与えました。
- .fxbファイルが圧縮されるようになりました。これによりプロジェクトのファイル・サイズもより小さくできるようになりました。
- Optionsページにadvanced disk-streamingモードを追加しました。ディスクストリーミング再生に於いて問題が発生した場合はこのモードをオフにしてください。

修正点：

- Program Listにてサブフォルダが選択された状態でProgramメニューからインストゥルメントを読み込むとクラッシュする問題を改善しました。
- 編集モードをRelativeにした時、エンベロープ（アタックタイムなど）のパラメーター調整が正常に動作しない問題を修正しました。
- Giga、Roland、EXS用のサンプルを読み込んだ場合、リリースループがContinuousモードにならない問題を改善しました。
- 複数のサンプルを選択した状態でエンベロープのループポイントを調整しても正常に動作するようになりました。
- DXiバージョンとして使用した際のテンポシンクとノートオフの問題を改善しました。
- モジュール・ホイールをモジュール・ソースとして、ボリュームをターゲットとして設定した場合、正常に動作しない問題を修正しました。
- Globalページ：スロット（プログラム）のアウトプットを変更しても、FX-Progのアウトプットは変更されない問題を修正しました。
- Browser上で*.fxbがカテゴリ分類できない問題を修正しました。
- Mac OS X：DigitalPerformer4.12/4.5上でAUバージョンとして使用した際の表示上の問題を修正しました。
- Mac OS X：スタンドアローンでの使用時にASIOデバイスの設定変更ができなかった問題を修正しました。

HALion 3.1.0 (pre-release 1)

新機能：

- Q-Controls：HALion FXパラメーターを含むほぼすべてのHALionのパラメーターを割り当てることができる8個のノブをもつコントロール・パネルが追加されました。Q-Controlsは通常Macroページに表示されますが、Soundページのモジュレーション部分から、独立表示させることもできます。OptionページのMIDI Controller List からQ-Controlのリモート・コントロールを設定できます。
- HALion スタンドアローン版：
 - グローバルのテンポ/拍子設定の追加。
 - プログラムとバンクの読み込みと保存が追加されました。
- HALion VST / DXi / Audio Units / スタンドアローン版の追加機能
 - HSBフォーマット
 - * プレイバックのパフォーマンス向上。
 - * カテゴリのインデックスが埋め込まれました。
 - * 2GB以上のファイル・サイズに対応。
 - * アイコンが適用されました。
 - * HSBファイルに含まれるサンプルを使用して新しいHSBファイルを作成する際に警告メッセージが表示されるようになりました。
 - * HSBファイルを上書き保存する際に警告メッセージが表示されるようになりました。
 - * ファイル名、フォルダ名/階層をHSBファイルと揃えて作成することで、HSBファイルの中に含まれるサンプル、fxpファイルをアップデートすることができます。
- BROWSER ページ
 - BROWSERページで“HALion Content”がカテゴリ別に表示されるようになりました。
 - オート・ブラウズ (Autobrowse) の性能が向上しました。
 - オート・ブラウズの切り替え: 3つのブラウザでオート・ブラウズのオン/オフ切り替えができるようになりました。
 - Mac OS9上で作成されたfxpの読み込み時にサンプルが見つからない問題を改善する“Repair Fxp Files”メニューの追加。
 - 独立したBrowser画面にプレビュー・ボタンが追加されました。
 - ブラウザのインポート・ボタンがキー・コマンド (Key command) で設定できるようになりました。
 - fxpファイルを複数選択できるようになりました。
 - オート・ブラウズ・モードにHALion Contentフォルダが表示されるようになりました。
 - カテゴリ・リストのアップデート。
- KEYZONE ページ
 - KEYZONEページにロック/アンロック (Lock/Unlock) ボタンが追加されました。
 - コンテキスト・メニューに“Load all samples” (全てのサンプルを読み込む) オプションが追加されました。
 - コンテキスト・メニューに“Unload all samples” (全てのサンプルを解放する) オプションが追加されました。
 - サンプルの読み込み: “Extract Key from filename” (サンプル名からキーを引用) オプションの追加。
 - KEYZONE ページ上でマウスを動かした時のインフォ・テキスト表示の精度向上。
 - 選択されたサンプルを再生するキーコマンド (デフォルトではP) が追加されました。
 - サンプルごとにフォルダを作成する“Create Folder per Sample”機能の追加。
 - バーチャル・キーボードのコンテキスト・メニューに“Clear Key”追加。
- LOOP ページ
 - “Range Start” をドラッグ編集できるようになりました。
 - Sample Start値はSample Start値に対し相対的にスライドします。

- プログラムリスト・ビュー
 - プログラムリスト上のプログラム名のはじめに番号を表示するようになりました。
 - ブラウザからドラッグ&ドロップでプログラムを読み込む際にマージ/上書きを選択するオプションが追加されました。
 - 選択されたサンプルの “Unload/Load” （ロード/アンロード）が追加されました。
- OPTION ページ
 - MIDIコントロール・チェンジ（CC）のデスティネーションとしてパンが追加されました。
 - MIDIコントロール・チェンジ（CC）用のLearn（学習）モードを搭載。
 - Volume Sensitivity（ボリューム感度）パラメーターを搭載。
 - メモリ・メーターを搭載。性能の向上。
 - Kurzweil / AKAI / EMU ライブラリのインポート性能が向上しました。
 - サンプルをドラッグする際に、ルート・キーも移動するようになりました。
 - オルタネイト（Alternate）にスタートとストップの機能が追加されました。
 - オルタネイト（Alternate）に新しいステップを追加する際のネーミングが改善されました。
 - CPUパフォーマンスの向上。

修正点：

- Audio Units (Mac OS X)
 - マルチ・アウトプット機能搭載。
 - グラフィック関連の問題を修正。
 - いくつかのアプリケーションでクラッシュする問題を修正。
- HALion スタンドアローン
 - いくつかのASIOカード(TASCAM FW- 1884など)で確認されていた問題を修正。
 - ASIO (Win) の安定性が向上しました。
 - HALionの終了を“CTRL-Q”で行えるように修正（以前は“Alt+F4”でした）。
 - HALionを終了する場合にかかる時間を短縮しました。
 - Windowsにインストール時にASIOフル・デュプレックス、DirectX、MMEドライバがインストールされるようになりました。
- BROWSER ページ
 - Cubase SX上で、ウィンドウにフォルダをドラッグするとクラッシュする問題を修正しました。
 - “REX2”と“zgr”ファイルを読み込んでも“unloaded”状態だった問題を修正。
- エフェクト 関連
 - インサート・エフェクトがドラム・モードで使用できなかった問題を修正。
 - エフェクトを使用した時に時々クラックリング・ノイズが発生する問題を修正。
 - オートパン/トレモロ：“Phase”フェーダーが機能するようになりました。
- GLOBAL ページ
 - -5~-7dBの間で起こっていたボリュームのエラーを修正。
 - 0.1ステップでボリュームが調節できるようになりました。
 - ソロの設定が1チャンネルしか保存されない問題の修正。
 - トランスポーズをフルレンジで使用するとクラッシュする問題を修正しました。
 - 同じプログラムを2スロット以上使用した時にクラックル・ノイズが出る問題を修正。
- Mac OS X 関連
 - 日本語フォントでつけられたファイルとディレクトリの名前がBROWSER画面で読めなかった問題を修正。
 - Cubase SX/SL/SE ver.1.x でHALionが正常に画面のリドローができなかった問題を修正。
 - Cubase SX2でHALionをVSTインストールメント・ラックから外したときにクラッシュする問題を修正。
 - パフォーマンスにかかわる問題を修正。
 - HALionスタンドアローン使用中にデスクトップからサンプルをドラッグ&ドロップした場合にフリーズする問題を修正。
 - キー・スイッチ時のマウスカーソルの問題を修正。
 - Shiftが使用された際、MODプリセットにCCが反映されない問題を修正。

- 日本語OS上でのグラフィカル問題を修正。
- HALion上でページを変えた時に起こっていたクラックル・ノイズの問題を修正。
- Relativeでの編集をマウスホイールで行う際の問題を修正。
- オーバーラップ/ペダル操作時のハンギング・ノートの問題を修正。
 - * ノート：Cubase上でノートが再生され続けないようにするためには、CubaseのCubaseメニューから“環境設定”を選択して現れる“初期設定”画面の中のMIDIページにある“停止時にリセット (Reset on Stop)”を有効にしてください。それでも改善されない場合もあるかもしれませんが、その場合は時期アップデートで改善する予定です。
- 最大チャンネル（ステレオ × 64、モノラル × 64、5.1 × 12）に設定した時にクラッシュする問題を修正。
- Alternate:ダイレクト・キー・スイッチの問題を修正。
- プログラムに含まれるフォルダを正しくコピー&ペーストできない問題を修正。
- キー・ゾーンとバーチャル・キーボードでサンプルを選択してもエンベロープの表示が変わらない問題を修正。
- いくつかのコンテキスト・メニューでのDCオフセットの問題を修正。